

問1 花が咲いたあとに受粉が行われなかった場合、めしべのものはどうなりますか。

問2 顕微鏡を使うとき、目を痛めてしまう危険があるため、使ってはいけないのはどのような場所ですか。

問3 めしべとおしべが別々の花にあり、1つのかぶに2種類の花がさく植物のことを何と呼びますか。

問4 花のつくりのうち、おしべだけがある花のことを何とよびますか。

問5 種子は、めしべのものとふくらんだ部分が育って何になるときに、その中にできるものですか。

問6 次の植物の命となる種子は、植物の体のどこに含まれていますか。

問7 花が咲いたあとに、めしべのものがふくらんで実ができるために、必ず行われなければならないことは何ですか。

問8 顕微鏡で、接眼レンズの数字と対物レンズの数字をかけ合わせたもののことを何といいますか。

問9 ヘチマやカボチャ、コスモスなどのように、こん虫に花粉を運んでもらう特徴をもつ花を何と呼びますか。

問10 花粉がつきやすくなるように、手ざわりがべとべととしている、花のつくりはどこですか。

問11 ヘチマなどの植物で、めばなにはどのような特徴がありますか。

問12 花粉がミツバチなどの虫によって運ばれる植物はどれですか。

問13 めしべの先に花粉がついたあと、めしべとその中身は、やがてそれぞれ何になりますか。

問14 おしべの先にある花粉の入ったふくろから花粉が出てくるとき、そのふくろはどのようなになりますか。

問15 動物がおこなう「受精」は、植物のどのような働きと同じように、生命を受けついでいくためのものですか。

問16 プレパラートを作って顕微鏡で観察するとき、プレパラートは顕微鏡のどの部分に置いてクリップでとめますか。